

創立70周年迎える

2009年9月8日、当社は創立70周年を迎えました。ほぼ創立当時から横浜に本社を置き、自動車に欠かせない重要な部品である「ばね」をコア・テクノロジーとして成長を重ねた後、情報通信関連のキーパーツを手がけ、さらに産業・生活の分野にもすそ野を広げ、地元を根ざした企業として、横浜の発展とともに業容を拡大してきました。

21世紀に入ってから安定した景気が続き、当社の主要な事業分野も堅調に推移しました。その中で当社は、品質・コスト・納期など、お客様のニーズに応えるよう努めてきました。ところがこの2年ほどは「100年に1度」といわれる不況に見舞われ、現在も厳しい経営環境にあります。しかし、どのような環境においても、ものづくりへの情熱を失わず、当社のあるべき姿を追求することに変わりはありません。

これからも明るい未来の発展に向かって、社業の発展と夢の実現をめざしていきます。



2009年9月8日、横浜事業所で行われた創立記念式典で挨拶する天木社長(当時)

2010年3月に発行した創立70周年記念誌「弾性夢限」

新たな広告を展開

さらなる知名度と企業イメージの向上のため、広告展開を刷新しました。

2010年3月下旬、プロ野球の新シーズンが開幕しました。当社はこれまで長年にわたり、横浜スタジアムのレフトポール際のファウル側のフェンスに社名広告を掲出していましたが、今シーズンからフェア側に移動しました。ちょうどレフトの選手後方付近の位置で、テレビの野球中継やスポーツニュースなどに映る機会が大幅に増えました。

また4月から、本社・横浜事業所の横を走る横浜新都市交通・金沢シーサイドラインの最寄り駅である「市大医学部」駅の副名称が「ニッパツ前」になりました。当社としては「ニッパツ三ツ沢球技場」に続き、2つ目のネーミングライツ(施設命名権)の取得になります。駅の表示はもとより、車内の路線図にも「ニッパツ前」が掲出されるほか、走行中の車両が同駅に到着する手前で下車駅としてアナウンスされています。

これからも「ニッパツ」の社名を見聞きする機会を増や

し、これまで当社を知らなかった方々に知っていただくとともに、さらなる真の理解促進に向けて取り組んでいきます。



初めてフェア側に移動し、ますます知名度向上に期待がかかる横浜スタジアムのフェンス広告



「市大医学部」駅の副名称が「ニッパツ前」としてスタート

「ニッパツ三ツ沢球技場」情報

「ニッパツ三ツ沢球技場」が3年目を迎えました。同球技場に関連した情報をまとめて紹介します。

「ニッパツ・関東理工科系大学サッカーリーグ」スタート

2010年3月、カレッジリーグが運営・管理を行ってきた「関東理工科系大学サッカーリーグ」に特別協賛し、新シーズンから「ニッパツ・関東理工科系大学サッカーリーグ」がスタートしました。サッカーJリーグの横浜FCから紹介があり、協賛することとしたものです。

3月25日、春季リーグの開幕戦は、当社が無償使用権を提供し「ニッパツ三ツ沢球技場」で行われました。14のチームが参加する同リーグは、春と秋にリーグ戦(ニッパツカップ)が行われるほか、トーナメント戦など様々なイベントが行われます。同リーグに参加する前途有望な学生が、スポーツを通じて健全な心身を育成することを願っています。



横浜FCの奥寺会長兼ゼネラルマネージャーが開幕式で挨拶



2010年3月にスタートした「ニッパツ・関東理工科系大学サッカーリーグ」

ホーム側広告を一新

ホーム側スタンドの当社広告スペースの台座の改修も行われたことから、広告も一新しました。当社の企業カラーであるニッパツレッドを基調にしたもので、より目立つようになりました。



ニッパツレッドが引き立つホーム側の当社広告

観戦シート刷新される

新シーズンから、同球技場の観客席のシートが新しくなりました。これまでのベンチシートから個席に刷新されました。総席数も増え、ゆったりと観戦できるようになりました。また昨年新しくなった照明設備は、追加工事が行われ、ピッチが明るく照らされてさらに見やすくなりました。

新シーズンも、横浜FCをはじめ、横浜F・マリノスのホームスタジアムとしてサッカーJリーグのゲームが数多く繰り上げられるほか、全国高校サッカーやラグビーのトップリーグなどフルに利用されています。

ぜひ一度、「ニッパツ三ツ沢球技場」にお出かけください。